令和2年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	8	事業No.	44		
事務事業名	リニア推進事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	リニア推進課	開始	S50	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する
	分野別計画			
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	リニア中央新幹線整備
	意図	早期開業

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)
★印はISO配慮事項

2020年度中のトンネル掘削に向けて、中央アルプストンネル松川工区の準備工事が妙琴公園内で進められています。今後、他工区でも工事計画が具体化していくことになりますが、地域の安全と環境に配慮した工事が進められるよう事業者側とより一層調整し、地域との合意形成を図って参ります。懸案事項である座光寺下段地区における環境対策（防音防災フード）の課題解決との調整を行います。また、建設発生土置き場確保に向けて、関係地権者との調整と下流域を含めた地域全体の合意がいただける計画となるよう調整して参ります。

2年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
トンネル掘削に向けて、妙琴公園内で中央アルプストンネル松川工区の準備工事が進められています。今後、天竜川橋りょう、座光寺地区の高架橋区間、上郷北条地区の駅部区間、風越山トンネルの工区、下久堅地区の発生土置き場など工事計画が具体化していきますが、JR東海、鉄道運輸機構及び長野県と連携し、説明会の開催など、地元との合意形成のもとにリニア本体工事の進捗が図られるよう調整します。リニア関連の市道整備である上郷35号線他については、今年度工事着手し年度内の完成を目指します。その他の２路線については、用地協議を進め事業の進捗を図ります。JR東海による環境アセスに基づく水資源事後調査については、着実に実施・対応されるよう調整して参ります。リニア関連事業を広く市民へ広報するため財政投入を含め検討します。	リニア関連市道整備事業費	230,100
	リニア推進啓発費	3,506
	リニア建設促進飯伊地区期成同盟会負担金	333
	駅整備推進基金積立金	5,120
	会計年度任用職員	1,790
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
関係地区調整(H30まで用地関係者組合)	地区	1	1	2	2	11		11	
リニア関連市道改良整備に係る調査計画	地区	2	2	2	2	2		2	
環境影響評価事後調査水資源調査の実施	地区	7	5	6	6	6		6	

2年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	240,849
国庫支出金	59,200
県支出金	0
地方債	55,800
その他	88,270
一般財源	37,579

特定財源内訳及び補足事項

（国）社会資本整備総合交付金（道路整備）（5.0／10）
（地）公共事業等（充当率90％）
（そ）ＪＲ東海負担金　82,150千円
（そ）基金利子　5,120千円
（そ）ふるさと寄附金　1,000千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	17	10	1	233,939 / 0	リニア推進事業費
2	1	2	1	17	10	3	5,120 / 0	リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金積立金
3	1	2	1	17	1	3	1,790 / 0	会計年度任用職員人件費
4								
5								
6								
7								